

内閣官房

Cabinet Secretariat

検索

- 内閣官房について
- 会見・発表
- 政策・制度
- 情報提供

トピックス

- 平成29年10月5日 **報道関係**
 - ▶ [第2回薬剤耐性\(AMR\)対策推進国民啓発会議の開催について](#) [国際感染症対策調整室]

- 平成29年10月3日 **会議関係**
 - ▶ [ナショナル・レジリエンス\(防災・減災\)懇談会\(第36回\)開催について掲載しました。](#) [国土強靱化推進室]

- 平成29年10月2日 **採用情報**
 - ▶ [内閣情報調査室国家公務員一般職\(大卒程度試験\)採用情報を更新しました](#) [内閣情報調査室内閣衛星情報センター]

- 平成29年9月29日 **会議関係**
 - ▶ [9月28日、「中小企業・小規模事業者の活力向上のための関係省庁連絡会議」のワーキンググループを開催。会議では下請等取引条件改善、最低賃金引き上げの取組等について議論しました。](#) [副長官補本室]



内閣官房について

- ▶ [組織図・事務概要](#)
- ▶ [幹部紹介](#)
- ▶ [内閣官房組織等英文名称一覧](#)
- ▶ [採用情報](#)

会見・発表

- ▶ [内閣官房長官記者会見](#)
- ▶ [報道発表](#)

(途中 省略)

政策パナー

トップページ	内閣官房の概要	所管法令	記者会見	報道発表	資料集
政策課題	国会提出法案	パブリックコメント等	情報公開・公文書管理	調達情報	リンク

[トップページ](#) > [政策課題](#) > CLT活用促進のための政府一元窓口

CLT活用促進のための政府一元窓口

最終更新：平成29年10月10日

CLT(シーエルティール) (Cross(クロス) Laminated(ラミネイティド) Timber(ティンバー)：直交集成板)とは、木の板を繊維方向が直角に交わるように重ねて接着したパネルで、欧米を中心にマンションや商業施設などの壁や床として普及しています。

CLTは、現場施工性がよいなどの利点があるとともに、パネル工法、部分利用といった広範な可能性があり、さらに、一般的な設計法が告示されたことによって、多様な用途の建築物に活用される環境が整いつつあります。

CLTは、これまで木材があまり使われてこなかった中大規模の建築物などに用いることにより、木材の新たな需要や新しい産業分野の創出が期待されるものとして、地方創生の方策としても大きな期待が寄せられています。

このため、CLTの幅広く積極的な活用に向け、政府を挙げて取り組むこととしています。

その一環として、CLTの活用に関する事業者や地方公共団体等からの問合せにお答えするために、内閣官房に政府の「一元窓口」を設けています。

CLT活用促進のための政府一元窓口

電話：03-3581-7027

担当：内閣官房 加藤、山口

目次

[CLTについて](#)

[CLTの身近な活用例](#)

[CLTで拓\(ひら\)く地域づくり\(パンフレット\)](#)

[CLTの普及に向けた新たなロードマップ](#)

[政府の取組について](#)

[CLT活用促進に向けた関連予算について](#)

[CLTを活用した建築物の整備状況について](#)

CLTについて

[CLTとは \(PDF/101KB\)](#)

[CLTを用いた建築物 \(PDF/86KB\)](#)

[支援措置等の問合せ先 \(PDF/33KB\)](#)

CLTの身近な活用例

CLTを活用した建物のうち、学校、事務所、住宅、店舗、宿泊施設やバス停など、身近な活用例が増えています。

[CLT活用例 \(PDF/4,232KB\)](#)

CLTで拓（ひら）く地域づくり（CLT建築推進協議会発行）

[CLT建築パンフレット 見開き版 \(PDF/15.9MB\)](#)

[CLT建築パンフレット 冊子印刷版 \(PDF/16.3MB\)](#)

※両面印刷すると、二つ折りで冊子になります

CLTの普及に向けた新たなロードマップ ～需要の一層の拡大を目指して～

平成26年に林野庁及び国土交通省が作成したロードマップは、CLTを一般的な建築材料として位置づけることを第一の目標としていました。これまでに、建築基準法に基づく告示が平成28年3、4月に施行され、平成28年度期首に5万㎡/年程度の生産能力を実現するなど、おおむねロードマップのとおり成果を得て、平成28年度末（平成29年3月）に終期を迎えました。

平成29年度以降は、CLTを本格的に普及していく観点から、需要の一層の拡大を目指すことを第一に、新たなロードマップを策定し、関係省庁が連携して政府一体となり取り組んでいます。

[CLTの普及に向けた新たなロードマップ \(PDF/167KB\)](#)

[平成26年策定のロードマップ \(PDF/288KB\)](#)

(参考) プレスリリース (H26)

林野庁

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/mokusan/1411111.html>

国土交通省

http://www.mlit.go.jp/report/press/house04_hh_000551.html

政府の取組について

CLTの活用促進に関し、関係省庁において様々な取組を実施しています。

[「公共建築物における木材の利用の促進に関する基本方針」の変更について \(林野庁・国土交通省\) \(PDF/77KB\)](#)

[「木造計画・設計基準及び同資料」の改定について \(国土交通省\) \(PDF/122KB\)](#)

[枠組壁工法の床版及び屋根版にCLTを使用するための基準整備について \(国土交通省\) \(PDF/943KB\)](#)

[CLT建築物の企画段階からの設計支援について \(林野庁\) \(PDF/186KB\)](#)

[CLT特別アドバイザー、CLT広報大使の委嘱について \(内閣官房\) \(PDF/367KB\)](#)

CLT活用促進に向けた関連予算について (平成29年度当初予算)

CLT需要の一層の拡大に向け、関係省庁ではCLTを用いた建築物に取り組みやすい環境の整備を進めています。

一般的な設計・施工ノウハウを蓄積するためのCLTを活用した先導的建築、実証的建築、性能検証等への支援を御紹介します。

[新たな木材需要創出総合プロジェクト【12億円の内数】 \(PDF/1,691KB\)](#)

林野庁補助事業

・CLTを活用した建築物を

①建設コスト縮減や施工方法について検討し実証するもの

- ②コスト縮減や施工方法の課題等を踏まえて設計するもの
- ③設計するために必要な構造、防耐火、遮音、断熱、耐久性等の性能試験を行うもの

に対する支援、二次公募期間：終了

実施団体：木構造振興（株）、（公財）日本住宅・木材技術センター

詳細はコチラ：<http://www.howtec.or.jp/>

[サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）【104億円の内数】
（PDF/220KB）](#)

国土交通省補助事業

・CLT工法等先導的な設計・施工技術が導入される建築物の木造・木質化プロジェクトに対する支援、

公募期間：第1回受付：9月12日～10月11日、

第2回受付：10月12日～11月10日

実施団体：H29サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）評価・実施支援室、

詳細はコチラ：<http://www.sendo-shien.jp/29/>

[木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業【20億円】
（PDF/179KB）](#)

環境省補助事業（農林水産省連携事業）

・CLT等を用いた建築物等の工事費（基礎部分などは除く。）、設備費、省CO2効果等の実証に係る計測費等に対する支援、

三次公募期間：終了

実施団体：（公財）北海道環境財団、

詳細はコチラ：<http://www.heco-hojo.jp/>

CLT活用促進に向けた関連予算について（平成30年度予算概算要求）

平成29年度に引き続き、関係省庁ではCLT活用促進に向けた関連予算を要求しています。主な支援措置を御紹介します。（全て内数扱い、国費ベース）

[建築物の木造・木質化及び木材産業活性化総合対策 6.6億円（林野庁）
（PDF/710KB）](#)

[林業・木材産業成長産業化促進対策 293億円（林野庁）（PDF／378KB）](#)

[サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）126.6億円（国土交通省）（PDF／202KB）](#)

[木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業 45億円（環境省）（PDF／306KB）](#)

C L Tを活用した建築物の整備状況について

C L Tを構造部材や内装用として活用した建築物が徐々に増えてきており、関係省庁と都道府県に調査を実施したところ、国・地方公共団体の庁舎や民間施設を合わせると95件が竣工しています（平成28年度末時点、うち2件は仮設建築物であり解体済み）。

一方、平成29年度に設計や施工を実施しているものは、地方公共団体の建物や民間施設で112件あります。

また、国の庁舎等では、平成29年度に設計又は施工を実施中のものが5件、平成30年度以降の整備を検討中のものが8件あります。

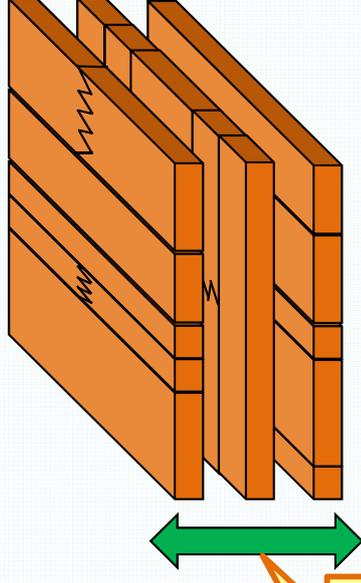
[C L Tの活用状況（PDF／93KB）](#)

CLT (直交集成板) とは

クロス ラミネイティド タインバー CLT (Cross Laminated Timber: 直交集成板) とは

- CLTとは、ひき板を繊維方向が直交するよう
に積層接着したパネル。
- 欧米を中心にマンションや商業施設などの壁や床として普及しており、我が国においても国産材CLTを活用した中高層建築物等の木造化による新たな木材需要の創出に期待。

CLT (スギ)



積層接着

CLTのメリット

施工が容易で頑丈

CLTパネル工法では、壁(面)で建物を支える構造のため、施工が容易で頑丈

- 従前、木造で中高層建築物を建築しようとすると、柱を太くするなど構造計算・施工が複雑となる等の課題

- CLTは、それ自体が柱や梁として機能することから、設計上比較的容易に建物としての強度の確保が可能



シンプルな施工

型枠職人等熟練工への依存が少なく、工期の縮減が可能



構造部分の組立は
2日間で完了
= 工期の大幅短縮

CLT建築物国内
第1号(高知県)

コンクリートより軽い

建物の重量が軽くなり、基礎工事等の簡素化が可能



CLT

1枚約220kg

(1m × 3m × 厚さ18cm)

コンクリート製品

1枚約500kg

(1m × 3m × 厚さ8.5cm)

どんなことでも問い合わせください！

総合窓口〈取組全般に関すること〉

【国の機関】〈政府の一元的な窓口〉（どこに問い合わせればよいかわからない場合）
CLT活用促進に関する関係省庁連絡会議幹事会（内閣官房 加藤、山口）
電話(03)3581-7027

【民間団体】

（一社）日本CLT協会 電話(03)5825-4774
CLT建築推進協議会 電話(088)855-7050

【地方自治体】

CLTで地方創生を実現する首長連合(高知県庁内) 電話(088)821-4592

支援措置に関する問合せ

【新たな木材需要創出総合プロジェクト】

CLTを活用した先駆的な建築物の建設等を支援します！（設計費、建設費）
農林水産省 林野庁 木材産業課 木材製品技術室 木材技術班
電話(03)6744-2294

【次世代林業基盤づくり交付金】

木造公共建築物の整備を支援します！（設計費、建設費）
農林水産省 林野庁 木材利用課 木造公共建築物促進班
電話(03)6744-2626

【サステナブル建築物等先導事業に関すること】

先導的な設計・施工技術を導入する中大規模木造建築物等の整備（木造・内外装木質化）を支援します！（調査設計費、建設工事費）
国土交通省 住宅局 住宅生産課 木造住宅振興室 開発係
電話(03)5253-8512

【木材利用による業務用施設の断熱性能効果検証事業に関すること】

CLT等に代表される新たな木質部材を用いた建築物の省エネ・省CO₂効果を定量的に評価するため、CLT建築物等の整備を支援します！（工事費、設備費、計測費等）
環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 地球温暖化対策事業室
電話(03)5521-8355

施設ごとの問合せ

【国の庁舎】 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課木材利用推進室
電話(03)5253-8949

【役場庁舎】 総務省地域力創造グループ地域政策課
電話(03)5253-5523

【学校】 文部科学省大臣官房文教施設企画部施設企画課
電話(03)6734-2292

【児童福祉施設等】 厚生労働省子ども家庭局子育て支援課
電話(03)3595-2647

【介護施設等】 厚生労働省老健局高齢者支援課 電話(03)3595-2888

【病院】 厚生労働省医政局医療経営支援課 電話(03)3595-2261
厚生労働省医政局地域医療計画課 電話(03)3595-2194